

## 寄居若者会議事業

—No.60 寄居町—

### 【事業の目的】

まちづくりに関心のある若者たちで構成する「寄居若者会議」を設置し、若い世代の自由で柔軟な発想に基づき、魅力的なまちづくりや地域活性化を図ることを目的としています。

### 【事業の内容】

平成29年度に寄居町若者会議から提案されたアイデアに基づき、平成30年度は、「まち歩きマップの作成」、「マルシェの開催」、「空き店舗の活用」、「お土産開発」などの事業に取り組みます。

### 【事業年度】

平成29年度～

### 【予算額(千円)】

788千円（平成30年度）

### 【財源】

一般財源（町）

### 【事業実施に至った背景・経緯】

平成29年度にスタートを切った第6次寄居町総合振興計画に掲げる「共創の体制づくり」を推進するため、寄居若者会議を立ち上げました。

人口減少、少子高齢化等の状況を乗り越え、「持続可能なまち」となるためには、効率的な行政経営を行うとともに、多彩な主体による協働（共創）が必要であると考えています。

そのためにも、外部の視点や若い世代の意見を取り込む必要があると考え、当該会議の委員については、町内外を問わず、18歳から34歳までの方を公募しました。

## 【事業のPRポイント】

ボランティアにも拘わらず、20人を超える委員が在籍しています。

委員は、大学生、社会人、町職員と職種も多岐にわたります。

寄居若者会議をきっかけに、町にUターンした委員もいます。

また、オブザーバーとして参加してもらっている町民の方等、寄居若者会議を応援、協力してくれる方も増えており、町民の中でも認知度は高まりつつあります。

アイデアの具体化はこれからの部分が多い状況ですが、地域に分け入って、「まち」と「ひと」を動かせるような活動を目指します。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

空き店舗の活用では、店舗の清掃活動も「見える化」し、地域の方に関心を持ってもらうことを意識しました。

寄居若者会議の提案がきっかけとなり、地元商店会も呼応する形で、平成29年度、約4年ぶりに町内でマルシェが復活しました。また、マルシェの開催に併せ、寄居若者会議の委員を中心に、空き店舗を活用したアート展等を開催しました。

町議会からは、「議会だより」の取材を受けたほか、平成29年度の当該会議の活動報告会には、他市町村の議会議員も傍聴に来るなど、町の内外から関心を持ってもらうことができました。

今後は、情報発信に工夫を重ねて注目度を高めるとともに、活動の「見える化」を実現することに注力していきます。

〔 連絡先 〕

総合政策課 政策推進班                      048（581）2121（内線461）